令和3年度警察庁行政事業レビュー　公開プロセス　結果

<table>
<tr><th>事業名</th><th colspan="3">評価結果</th><th>取りまとめコメント</th></tr>
<tr><td rowspan="2">警察電話専用料</td><td>事業内容の一部改善</td><td>4</td><td rowspan="2">事業内容の一部改善</td><td rowspan="2">○　災害等の緊急事態が生じた際に専用回線がどのように機能したのかといったデータを取得するなど、現状の事業の在り方が望ましいかの分析ができる体制をとっておくべき。

○　アウトカムについて、疎通率に加えてアクティビティやアウトプットに近いアウトカムを作る方が本事業の推進には重要ではないか。

○　金額とリスクのトレードオフに留意しつつ、安価かつ安全な専用回線の確保に必要な方策について、さらに検討していただきたい。

○　トラブルに対する改善策等の効率的・効果的な情報共有の在り方について検討すべき。

○　帯域保証型から帯域確保型への変更については、現状、通信速度等においてどのような支障が発生しているのか、契約金額がどのくらい増加するのか等を詳細に検証した上で、その必要性と効果を十分に検討し決定すべき。</td></tr>
<tr><td>現状通り</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">通信指令施設の更新整備</td><td>事業内容の一部改善</td><td>5</td><td rowspan="2">事業内容の一部改善</td><td rowspan="2">○　コスト面や技術革新等を踏まえ、複数の県による共同発注について実施してもよいと考えられる。

○　事業の目的について、事業説明になっており、具体的な事業目的になっていないことから、目標設定及びそのレベル設定について再検討をし、定量的なアウトプット・アウトカムの設定ができるものとし、事業効果を測定しPDCAサイクルを回すことができるレベルに落とし込むべき。

○　ベンダーロックインについては今のところ生じていないようだが、引き続き、競争性の確保に注力していただきたい。</td></tr>
<tr><td>現状通り</td><td>1</td></tr>
</table>